

130名の卒業生

3月14日（金）に、130名の6年生が卒業しました。卒業前、1年生のことが気になったのか、登校後に1年教室に行って1年生と楽しくお話をしたり、朝のあいさつや掃除などを5年生に引き継ごうとしていたりしている様子が観られました。本校の教育目標「こころざし」「思いやり」「ひらめき」を達成させようと取り組んだ子供たちは、中学校ではより「主体性」という力を求められます。そこで、卒業生に送った言葉は、アルバート・エリスの「ABC理論」です。ABC理論とは、「出来事があったときに、どう考えるかで気持ちや行動が変わる」という考え方です。A：出来事、B：考え方、C：結果となります。例えば、中学校で部活動に入ったとします。試合に負けたとき、「自分には才能がない。やめたい」と思う人がいるかもしれません。しかし、違う考え方もできます。「まだ練習が足りなかった。もっと努力してみよう。」そう考えると悔しさをバネにして次への挑戦につなげることができるかもしれません。つまり、出来事（A）は同じでも、考え方（B）が変われば、結果（C）も大きく変わるということです。先人の言葉にも、「心が変われば行動が変わる 行動が変われば習慣が変わる 習慣が変われば人格が変わる 人格が変われば運命が変わる」とあります。130名の卒業生には、物事を前向きに捉え、仲間と共に幸せな未来社会を創ってほしいと願っております。

**PTA 主催：卒業式後のバルーンリリース**

今年度もPTA主催でバルーンリリースを実施しました。ボランティアや卒業生のご家族にもご協力いただき、子供たちの思いや夢を込めた約400個の色とりどりのバルーンは、青空へと舞い上がっていきました。卒業生には空高く舞い上がるバルーンのように大きな夢を持ち、自分らしく羽ばたいてほしいと願っています。PTA役員とおやじの会の皆様、素敵な企画をありがとうございました。

**150名の5年生**

3月12日（水）に、引継ぎ式を実施しました。引継ぎ式とは、6年生から5年生へ想いと校旗を託す式です。この式は、5年生が新たな最高学年としての自覚を持ち、4月からの学校生活をよりよいものにしていこうとする意識を高める大切な機会となっています。式では、6年生が学校を支えるリーダーとしての責任や想いについて語ることで、バトンを受け取る5年生が新たな学校づくりへの決意を新たにします。この式を通して、より楽しく、より学びの多い学校を創ってほしいと願っています。

保護者の皆様におかれましては、今後もお子さまの成長を温かく見守り、ご支援いただければ幸いです。

今号をもちまして、今年度の「中央っ子通信」を終わります。
ありがとうございました。

